

令和2年6月4日

県連盟役員各位
地区委員長各位
地区コミッショナー各位
地区事務長各位
団委員長各位

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
理事長 村松 武博
県連盟コミッショナー 小林 透

新型コロナウイルス感染への対応について ～新しい日常にむけて～
団関係者・育成会等への周知と徹底について(第9報)

日本連盟より6月4日付「新型コロナウイルス感染への対応について」を受け、5月31日まで活動を自粛してきましたが、この度「新しい日常にむけて(今後の取り組み)」として活動再開を踏まえ、見直されました。

今後、各自治体、地域で対応に関する要請がある場合は、その要請に応えることとします。引き続き、各自治体、地域とも連携した対応をお願いいたします。

先のガイドラインと合わせて、隊・団において「新しい日常に向けて(今後の取り組み)」を行い、活動を再開されますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

1. 新しい日常にむけて(今後の取り組み)

(1) 新型コロナウイルス感染症に対する考え方

- ① 感染リスクはゼロにはならないことを前提とし、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減させながら活動を行う。
- ② 「3つの密」を避け、「新しい生活様式」に基づく、基本的な感染対策を行う。
- ③ 指導者は、自らの家庭をはじめ、スカウトおよびスカウトの家庭と連携する。
- ④ 感染者や濃厚接触者への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などを防止する。

(2) 「新しい生活様式」の徹底による活動

- ① 「新しい生活様式」におけるスカウト活動は、できるだけ野外(屋外)において、感染につながる可能性が高い「3つの密」をすべて避ける活動内容で実施してください。

※活動毎の想定と対応例について、ガイドライン（日本連盟ホームページで公開）に掲載されています。

- ② 日本連盟からの要請で、「感染リスクの高いキャンプなどの宿泊を伴う活動は、野外活動であっても参加者相互が長時間にわたり接触することになるので、夏季まで行なわないでください。8月末を目安としていますが、状況によっては、今後、延長する可能性があります」としており、自粛をお願いします。
- ③ 各団は、スカウトの保護者に対し、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのスカウト活動における対応を説明していただき、各家庭における「新しい生活様式の実践」に、ご理解いただくなどの連携をお願いします。
- ④ 新型コロナウイルス影響下で新しい日常が定着する中、感染者や濃厚接触者への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などが危惧されています。

学校でも「3つの感染症」として注意喚起など指導されています。これについては、以下のURLに詳しいの情報がありますのでご参照ください。

「3つの感染症」日本赤十字社

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

2. スカウト活動再開に向けて

感染状況が収束したわけではありませんので、基本的には「新しい生活様式」の実践を徹底します。また、移動についての配慮、参加人数や会場の関係なども十分に管理する必要があります。大きくは次のように進めます。

◇ 集会等の実施は、「3つの密」をさけ「新しい生活様式」に沿った活動で実施する。

◇ 会議等の実施は、積極的にWEBを活用する。

「3つの密」をさけ「新しい生活様式」に沿って実施する。

【必須事項】

- 一、集会等の実施については、活動実施計画書を必要としますが、必ず「新型コロナウイルス感染予防」について、下記の点を踏まえ、「対策」を講じ、記載してください。
- 二、下記の「2. 活動に関連して感染が拡大する事態が起きた時の対応」に伴い、活動実施前と実施後には、団委員長を通じ、地区コミッショナーに報告をお願いします。

(1) 「3つの密」を避けた活動を行う。

- ① スカウト（付き添い）・指導者が行うこと
・まめに手洗いをを行う。

- ・咳エチケットを励行する。
- ・個人の備え（マスクなど）を行う。
- ・体調の確認をする。検温などを行う。
- ・体調管理を行い「自分がうつらない」「人にうつさない」を基本とする。
- ・飲料などは個人で携行し、まわし飲みなどしない。
- ・保護者に活動参加の同意を得る。

② 主催者が行うこと

イ. 消毒について

- ・参加者一人一人への手指消毒を励行する。
- ・複数人で使用する器具等の消毒を行う。
- ・消毒薬等を用意する。

ロ. 活動場所（空間）の管理について

- ・活動場所については、換気のよい、密集をさけた空間を選ぶ。
- ・室内などでは、密集をさける人数、広さなどを考慮し、換気を定期的に行う。
- ・夏季に向かって高温多湿となる季節なので、熱中症対策も考慮する。
- ・団本部等の利用頻度の高い場所は、こまめに消毒を行う。
- ・普段から占有して利用できる施設、野営場等の施設ルールに従う。それがない場合は独自にルールを定め利用する。

ハ. 活動内容について

- ・ゲームや集会等では、飛沫感染、接触感染に注意した内容とする。
- ・活動計画は無理をしない内容にする。

2. 活動に関連して感染が拡大する事態が起きた時の対応

スカウト活動に関連した活動で、感染が拡大した、もしくは拡大の可能性が疑われるような事態が起こった時は、関係者は各組織を通じた連絡（団→地区→県連盟→日本連盟）を速やかに行います。

3. 今後のスカウト活動のあり方（県連盟第7報より引用）

(1) ちかいとおきての実践

自分たちの行動によって、新型コロナウイルスの感染予防に繋がります。それは、家族をはじめ友人やスカウト仲間を守ることになります。コロナ禍によって生活が一変していますが、日々の「ちかいとおきて」の実践は、私たちの心と体を健康に導いてくれます。今一度「ちかいとおきて」を思い浮かべ、さらなる行動をしてみましょう。

(2) 今できること、おうちスカウティングを取り入れて

引き続き、各団・隊指導者が、日頃からのスカウトおよび保護者との連携を取っていただき、スカウト一人一人が家庭でできるプログラムを取り入れてください。そしてその内容を集約した隊集会に繋げてみましょう。

#おうちスカウティング（日々更新中）※日本連盟HPより

<https://www.scout.or.jp/member/scoutingathome/>

(3) オンライン会議を活用しましょう

なかなか集まらないから「班長会議」や「班会議」ができない、ベンチャー隊では「隊会議」や「隊運営会議」「活動チーム会議」ができない等々ありましたが、オンラインによる会議を取り入れて、班制度を用いた活動に繋げてみましょう。

まずは、大人が団会議や団委員会でオンライン会議を体験するのもいいかもしれません。

ご相談ご質問について

内容等のご相談ご質問は、静岡県連盟事務局もしくは所属地区コミッショナーにご連絡ください。

【連絡先：静岡県連盟事務局】

TEL 054-255-6185 FAX 054-255-6186 E-mail bs-shizuoka@mail.wbs.ne.jp

以 上